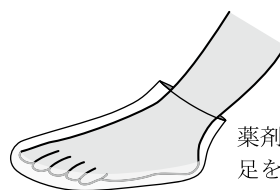


## 酸を使ったフットケア商品に注意

**Q：酸を使って足の角質をとる商品が販売されていますが、安全性は。**

**A：**酸を使ったフットケア商品の多くには、皮膚表面を剥離させる作用がある酸が配合されています。足に化学やけどを起こした報告もありますので、酸を使ったフットケア商品を使用する場合は、商品のリスクを理解した上で、皮膚の様子をみながら、まずは表示よりも大幅に短い時間から使い始めると良いでしょう。少しでも痛みや違和感があった場合は、すぐに使用を中止して医師の診察を受けましょう。



薬剤の入った靴下状の袋に  
足を一定時間浸して使用する。

図. 商品のイメージ

\*内容の詳細につきましては、末尾参考資料のホームページにある「報告書本文(PDF)」をご覧ください。

薬剤の入った靴下状の袋に足を一定時間浸すことで、足裏の角質を剥がし、すべすべにすることをうたった商品が販売されています(以下、「酸を使ったフットケア商品」とします)。これらの商品の多くには、角質の剥離を促す作用のある、グリコール酸やサリチル酸、乳酸等のヒドロキシ酸が配合されています。

2018年10月に、国民生活センターの「医師からの事故情報受付窓口」(以下、「ドクターメール箱」(注1)とします)に、酸を使ったフットケア商品を使用して化学やけどを負った、という事故情報が寄せられました。また、PIO-NET(注2)には、足の角質をケアすることをうたった商品を使用して、やけどや痛み等の危害が発生したという相談が2013年度以降の約5年間(2019年1月15日までの登録分)で26件寄せられ、治療に1ヵ月以上を要した事例や、一時的に痛みで歩けなくなったという事例もありました。

(注1) 消費者が商品・役務の利用等により事故に遭い医療機関を受診した情報を直接医師から得ることで、事故情報を早期に把握し、再発・拡大防止に役立てるために、2014年8月から国民生活センターホームページ上に開設している窓口 [http://www.kokusen.go.jp/jiko\\_uketuke/index.html](http://www.kokusen.go.jp/jiko_uketuke/index.html)

(注2) PIO-NET(パイオネット:全国消費生活情報ネットワークシステム)とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのことです。

## 【酸を使ったフットケア商品について】

酸を使ったフットケア商品の多くには、グリコール酸、乳酸、サリチル酸など、皮膚表面を剥離させる作用を持ち、ケミカルピーリング剤の成分としても使用されるヒドロキシ酸が配合されています。

ケミカルピーリングは、皮膚に化学物質を塗布することで表皮又は真皮を剥離させ、皮膚の再生する自然治癒過程を利用した剥皮術の一つで、医療機関やエステティックサロン等でも行われる施術です。

$\alpha$ -ヒドロキシ酸等の化学薬品を使用したケミカルピーリングは、業として行うと医行為に該当するとされており、また、公益社団法人日本皮膚科学会の「ケミカルピーリングガイドライン」では、ケミカルピーリングは「皮膚科診療技術を十分に修得した皮膚科専門医ないしそれと同等の技術・知識を有する医師の十分な管理下に行われるべき行為である」、とされています。

一方、FDA(米国食品医薬品局)によると、化粧品に $\alpha$ -ヒドロキシ酸を配合する場合、 $\alpha$ -ヒドロキシ酸の濃度が10.0%以下、最終製品のpHが3.5以上であれば安全であるとされています。また、pH3.0以上、グリコール酸濃度10%以下であれば、ほとんど反応はみられず、安全性は確保されるとの厚生科学研究の報告があります。

また、化粧品基準では、サリチル酸について、すべての化粧品への最大配合量が100g中0.20gと規定されています。

### 1. ドクターメール箱に寄せられた事故情報

**【事例】** 足の角質をとる商品を使用して足の甲に広範なびらんを生じた。化学やけどと診断

ドラッグストアで購入した足の角質をとる商品を表示された使用方法に従って使ったところ、足の甲に広範なびらんを生じ、使用から6日後に来院した。化学やけどと診断。足の甲にびらん、足全体に落屑がみられたため、軟膏を塗布し、解熱鎮痛消炎剤を処方した。6日後に再度受診。色素沈着と若干のかさぶた付着がみられ、痛みが持続していたことから、皮膚の保護のために保湿剤を使用した。

\*他の事例はHPを参照ください。

事例 患部の様子



### 2. 主なテスト結果

酸を使ったフットケア商品5銘柄をテスト対象としました。

- (1) ヒドロキシ酸の合計量は5.2~12.1%で、そのうち、 $\alpha$ -ヒドロキシ酸の合計量が、FDA(米国食品医薬品局)において、化粧品として安全であるとされる10.0%を超えるものが1銘柄ありました。
- (2) pHは2.4~4.0で、そのうち、FDAにおいて、化粧品として安全であるとされるpH3.5を下回るものが3銘柄ありました。
- (3) 表示等
  - 1) 足裏の皮膚が広範囲に剥がれた写真が掲載されており、消費者が、皮膚トラブルなのか正常な状態なのかを判断できない可能性があると考えられました。
  - 2) テスト対象銘柄には、使用から数日後に皮膚が剥がれるとの表示があり、使用時間を

適切に調整することは難しいと考えられました。

- 3) いずれの銘柄にも、履いただけで足裏の角質が剥がれると受け取れる旨の表示がみられ、化粧品の効能効果の範囲を超える可能性があります。

### 3. 消費者へのアドバイス

酸を使ったフットケア商品を使用する場合は、表示よりも大幅に短い時間から試すようにしましょう。テスト対象銘柄の中には、FDA(米国食品医薬品局)の推奨値と照らし合わせると、化粧品として安全であるとされる pH や  $\alpha$ -ヒドロキシ酸量を超える商品がありました。また、当該商品の影響は個人差が大きく、同じ人でもその時の皮膚の状態や体調によって変わるため、表示どおり使用しても化学やけど等のトラブルが起きる可能性があります。

酸を使ったフットケア商品を使用する場合は、商品のリスクを理解した上で、皮膚の様子をみながら、まずは表示よりも大幅に短い時間から使い始めると良いでしょう。少しでも痛みや違和感があった場合は、すぐに使用を中止して医師の診察を受けましょう。

なお、足裏の角質のケアには、酸を使ったフットケア商品を使用するのではなく、保湿クリームなどを活用することも効果的です。

### 【 参考資料 】

- 1) 独立行政法人国民生活センターホームページ  
[http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20190307\\_2.html](http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20190307_2.html)